

## 研究課題「成熟 T/NK 細胞リンパ腫におけるゲノム異常とその臨床病理学的な意義に関する後方視的研究」への協力に関する情報公開

当院は表題の研究に協力します。該当する患者さんの診療情報や試料を匿名化のうえ研究機関に情報提供しますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【研究課題名】

成熟 T/NK 細胞リンパ腫におけるゲノム異常とその臨床病理学的な意義に関する後方視的研究

### 【研究の目的と意義】

成熟 T/NK 細胞リンパ腫の腫瘍細胞の病理学的所見、遺伝子異常などを解析し、分子病理学的な理解を深め、病気の悪性度を予測する方法の検討や、治療のターゲットとなるような分子の同定を行うことです。成熟 T/NK 細胞リンパ腫の診断と治療の進歩につながることが期待されます。また、成熟 T/NK 細胞リンパ腫はホジキンリンパ腫の一部との鑑別が難しいことがあり、その両者についても比較解析することで診断に有用な知見が得られることが期待されます。

### 【対象となる患者さん】

昭和 55 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までに、成熟 T/NK 細胞リンパ腫（未分化大細胞型リンパ腫を含む）もしくはホジキンリンパ腫と診断された患者さん

### 【研究の方法と期間】

診療目的で過去に生検ないし摘出された組織のうち、診療に用いられた以外の余剰分の試料を主たる研究機関である愛知県がんセンターに送ります。それを用いて、病理組織学的な検討やがん関連遺伝子の異常などについての解析を行います。また、性別、年齢、病変の部位、治療内容、治療に対する反応性と結果等の臨床情報についても、診療情報から抽出して提供します。これらの試料・情報は匿名化された状態で送られます。研究期間は、2025 年 12 月 31 日までです。

### 【利用する試料、カルテ情報】

診療情報：カルテからは、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・FISH・染色体分析結果・画像所見・生存期間・生死等の情報

その他：生検または摘出された腫瘍組織のホルマリン固定パラフィン包埋材料（未染標本）

### 【研究組織】

この研究は、多施設の共同研究で行われます。提供する情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

共同研究機関は、(<https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/cc/01gaiyo/rinri/index.html>) に公開されています。

**【問い合わせ先】**

本研究に関してご相談やご質問がある場合、また、試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記までご連絡下さい。

研究責任医師：

愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部 加藤省一  
〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1 番 1 号  
電話 052-762-6111

当院における担当者：公立陶生病院 病理診断科 北村淳子  
〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町 160 番地  
電話：0561-82-5101